

(3) 公園整備計画

1) 今年度の整備計画

① 昨年度までの整備計画の検討内容

主要施設（活動拠点施設、トイレ、あずまや、駐車場、園路）について、大阪府泉佐野丘陵緑地や堺自然ふれあいの森などを参考に、施設内容、施設位置、概略規模などについて検討を行った。

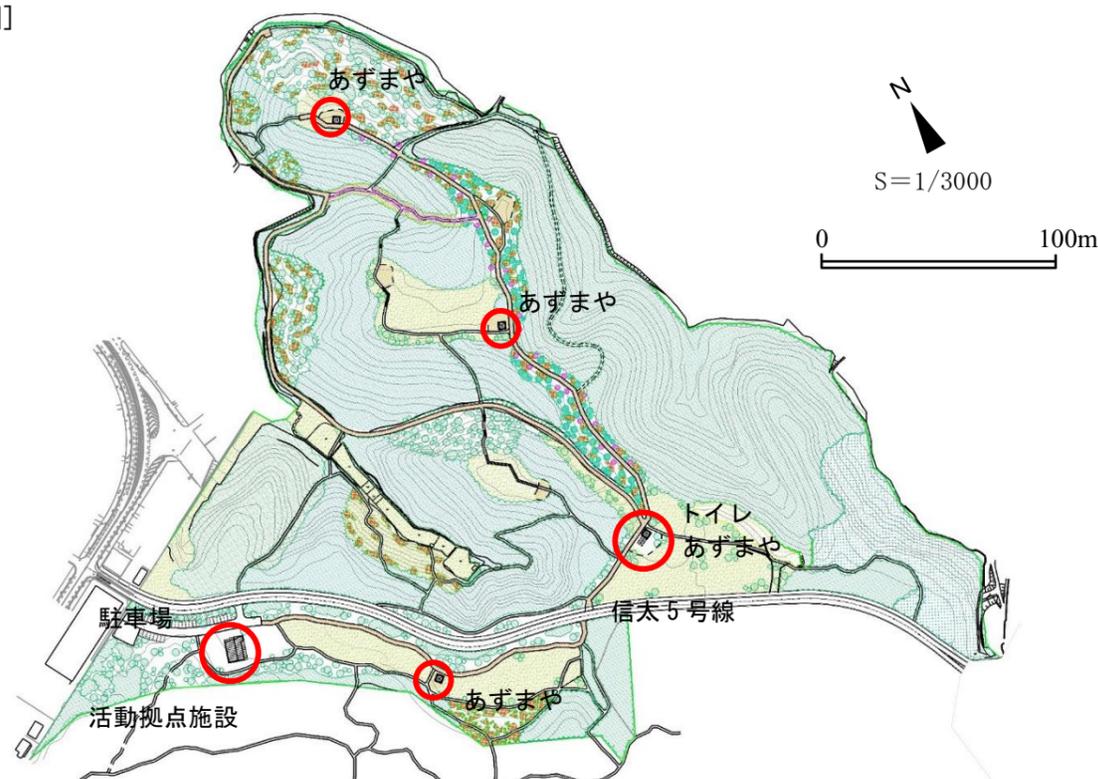
② 本年度整備計画の目的

各施設の利用形態や利用内容を具体化し、施設内容等を精査して、施設の諸元や仕様を設定する。

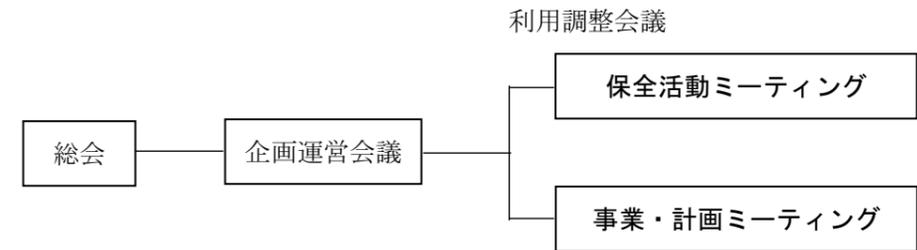
[対象施設一覧表]

施設名	利用形態	検討内容
活動拠点施設	・多目的室、展示、トイレ、収納、事務等	各部屋の面積 利用想定に合わせた施設の仕様
トイレ	・東側エリアの活動等に対応	穴数、休憩スペース
あずまや	・人待ち、休憩、雨宿り等	施設配置
園路	・散策	舗装断面、仕上げ
サイン	・案内、誘導、説明等	配置計画
駐車場	・自家用車、団体バス	駐車場配置
管理施設(柵、ゲート等)	・立入防止、転落防止等	種類、位置
各種設備	・給水、汚水排水、電気等	給水設備、電気設備、汚水排水
信太5号線関連	・ロードキル対策施設	ロードキル対策

[対象施設位置図]



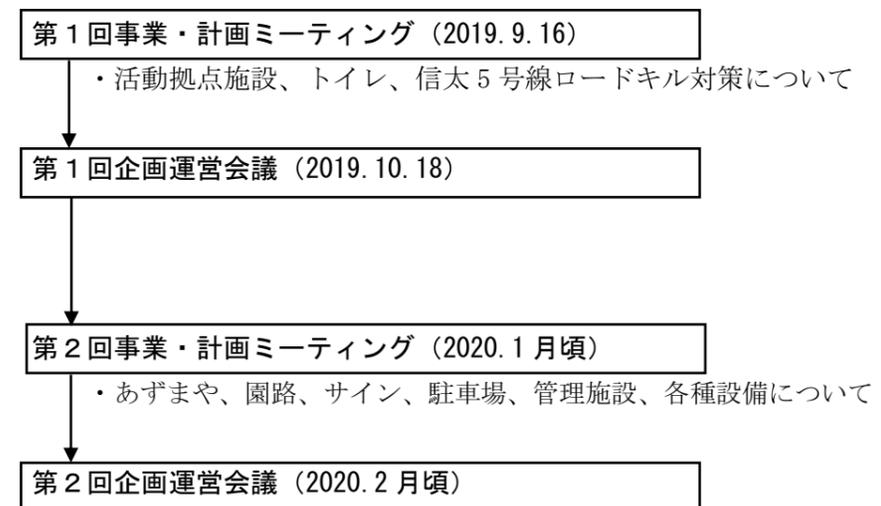
③ 事業計画ミーティング



※事業・計画ミーティング

・本公園の整備計画に関する意見交換を行う場として、保全活動に参加されている市民や学識者、行政を交えたワークショップ形式の会議。

④ スケジュール



2) 利用形態に基づく各施設の検討

①活動拠点施設

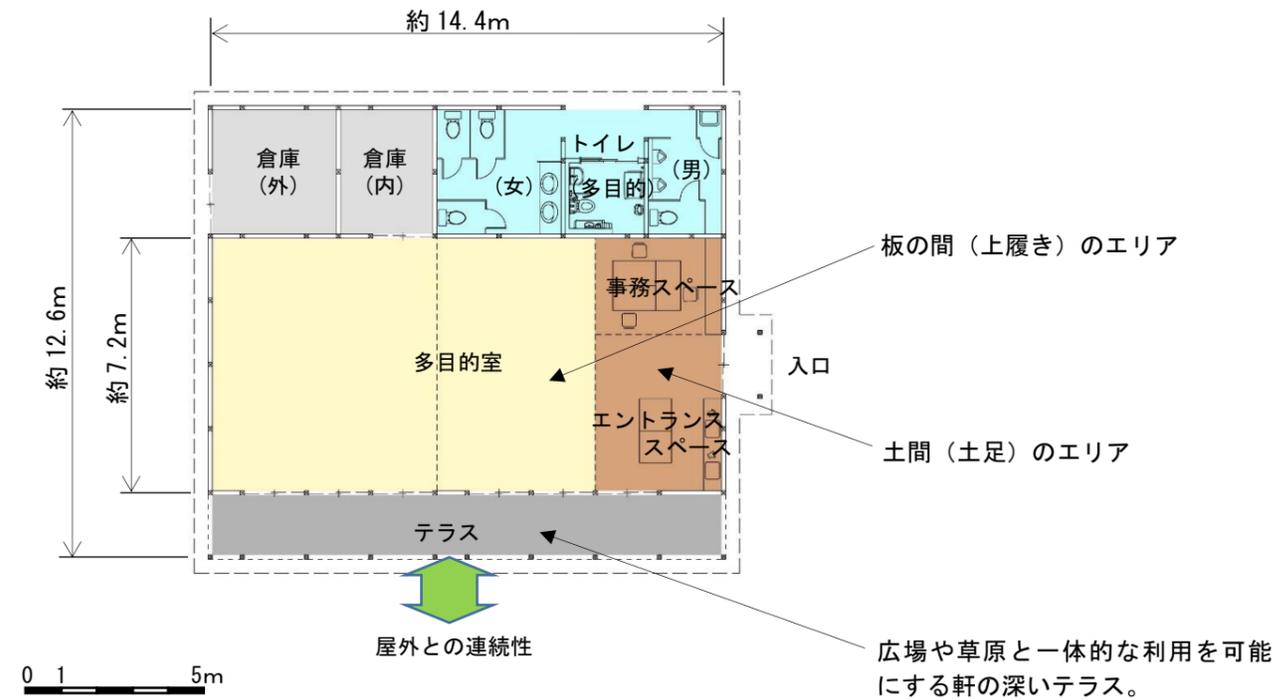
[1] 利用形態と施設規模

施設名 (面積)	想定される利用形態	規模算定の根拠	備 考
多目的室 (約 80 m <sup>2</sup> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保全活動のミーティング、公園利用のレクチャーや講習会、クラフトや草木染等の創作や食に関するプログラム等、様々な利用に対応する。</li> <li>・拠点施設は小学校3クラスの利用に対応するものとする。3クラスは、講義やレクチャー(室内)、クラフト等プログラム(室内)、観察会等(屋外)に分かれてクラス単位で活動すると想定する。</li> <li>・雨宿りや休憩等についてはテラスを含めた拠点施設全体で対応する。</li> </ul>	<p>○和泉市の小学校の状況(和泉市教育委員会資料 令和元年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校数:21校 1学年3クラス以下の学年:全体の約8割(81%)</li> <li>・1学年3クラスの最大児童数:124人</li> <li>1クラスの最大児童数:44人(和泉市教育委員会資料)</li> </ul> <p>○多目的室の規模の算定根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1クラス利用の最大児童数:44人+教師+サポーター=約50人</li> <li>・1人当たり必要面積(建築設計資料集成)</li> <li>講義等:0.6×0.9=0.54 m<sup>2</sup></li> <li>クラフト等:0.6×1.05=0.63 m<sup>2</sup></li> <li>座席配置は部屋の7割程度を使用する。</li> <li>・(50人×0.54 m<sup>2</sup>+50人×0.63 m<sup>2</sup>)×1/0.7=83.5 m<sup>2</sup></li> </ul> <p>※講義やクラフト等の利用を想定して座席配置を検討し、多目的室の規模設定を行う。(別図参照) 約80.0 m<sup>2</sup></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①エントランススペース事務スペースと一体の空間利用</li> <li>②間仕切りによって色々な利用にフレキシブルに対応できる</li> <li>③土足利用を基本と考える</li> </ul>
エントランス スペース (約 13 m <sup>2</sup> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本公園の自然や催事、活動プログラムの紹介や案内を行うスペース。</li> <li>・草木染や食のプログラム、イベント時には炊事などに対応するためのキッチンを設ける。</li> </ul>	<p>○2間×2間程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12.9 m<sup>2</sup></li> </ul>	
事務スペース (約 12 m <sup>2</sup> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園利用受付、運営管理事務等を行うスペース。</li> <li>・事務員は運営体制等によるため未定であるが、1~3人程度を想定。</li> <li>・活動の打合せ等は間仕切りを用いて対応する。</li> </ul>	<p>○事務員3人程度を想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人当たり面積:4.0 m<sup>2</sup>(建築設計資料集成)</li> <li>∴4.0 m<sup>2</sup>×3人=12.0 m<sup>2</sup></li> </ul>	
テラス (約 20 m <sup>2</sup> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外の作業場として利用できるとともに、多目的室と一体となって小学校3クラス規模の屋内利用にも対応する。</li> <li>・屋内空間を補完し休憩や雨宿りに利用できる軒下等の半屋外的なスペース。</li> </ul>	<p>○小学校1クラスの利用に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1クラス(最大44人)</li> <li>・1人当たり面積:0.5 m<sup>2</sup></li> <li>∴0.5 m<sup>2</sup>×44人=22.0 m<sup>2</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①タープの様な可変式屋根による拡張性</li> <li>②手洗い・足洗場の設置</li> </ul>
トイレ (約 30 m <sup>2</sup> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女のブースと身障者に対応できるブースを用意する。</li> <li>・常設の水洗トイレ。</li> </ul>	<p>○小学校3クラスの利用に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの利用率:1/30(30人に1人利用・建築設計資料集成)</li> <li>・150人/日×1/30=5穴</li> <li>・女(大3、洗面2)男(大1、小2、洗面2)身障者1</li> </ul>	
倉庫(屋内) (約 10 m <sup>2</sup> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長机、椅子等や、クラフト等の活動用の機材や材料を収納する。</li> </ul>	<p>○2間×1.5間程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9.0 m<sup>2</sup></li> </ul>	
倉庫(外利用) (約 13 m <sup>2</sup> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈り機、チェーンソー等の機材や、燃料、角材等の資材等を収納する。</li> </ul>	<p>○2間×2間程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・13.0 m<sup>2</sup></li> </ul>	
合計面積 約 178.0 m <sup>2</sup>	建築規模:約 180 m <sup>2</sup>		

[2] フレキシブルな利用に対応する多目的室 (図面 S=1/200)

○間仕切りで変化する多目的室、屋外と繋がるテラス

- ・多目的室、事務スペース、エントランススペースは一つの大きな部屋の中に配置する。
- ・多目的室は可動式の間仕切りで部屋の大きさを変化させて、多様な規模の利用に対応する。
- ・軒の深いテラスが多目的室(屋内)と草原や広場(屋外)を緩やかにつなぐ。



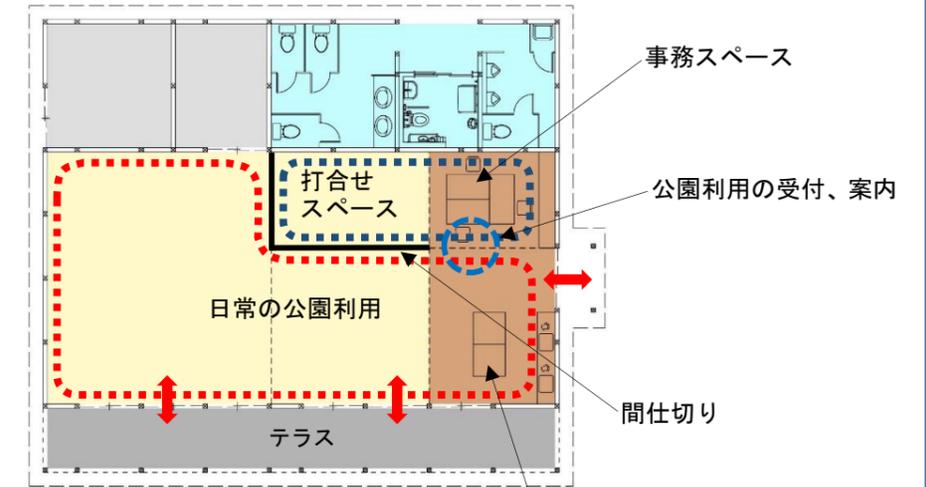
① 日常の公園利用

- ・普段は多目的室全体を、休憩や公園紹介等の日常の利用に対応できる空間とする。
- ・一部を仕切ってボランティアスタッフ等の打ち合わせスペースを設けることも可能。

■休憩等の日常利用



■信太山の紹介や案内等の利用



■テラスと屋外の一体的な利用



■宽げる縁台



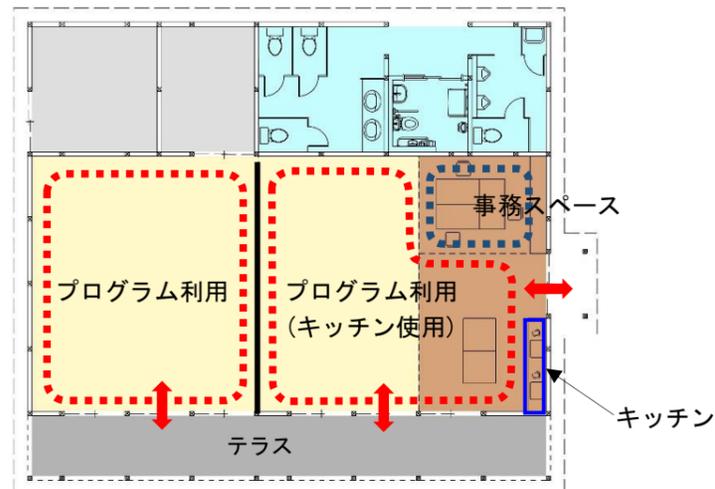
② プログラム利用

- ・小学校等の団体によるプログラム利用に対しては、多目的室全体を使って対応する。
- ・複数プログラムの場合は、間仕切りで二部屋に分けて利用する。
- ・食や草木染等のプログラムに対応するためにキッチンを備える。

■クラフト等のプログラム



■レクチャーや講座等の利用



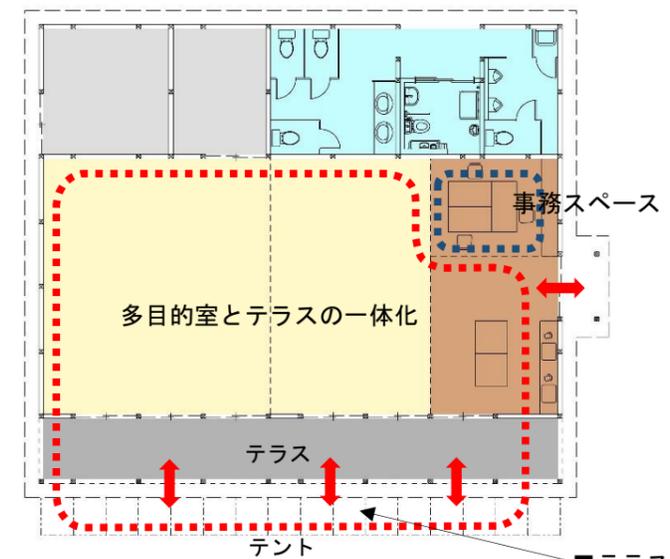
■キッチンを使った食や草木染などのプログラム



③ 最大時の利用(雨宿り等)

- ・多目的室とテラスを一体的に利用すると、小学校3クラス程度の利用に対応できる。
- ・テラスの先に可動式テントを設置するなど、雨よけや靴脱ぎスペースを検討する。

■多目的室全体を使った利用



■テラスを補完する可動式テント



[3] 建築デザインの方向性

- ・里山自然公園の緑が豊かな環境や風景に馴染む建築デザインとする。
- ・木や土などの自然素材を用いた建築とする。

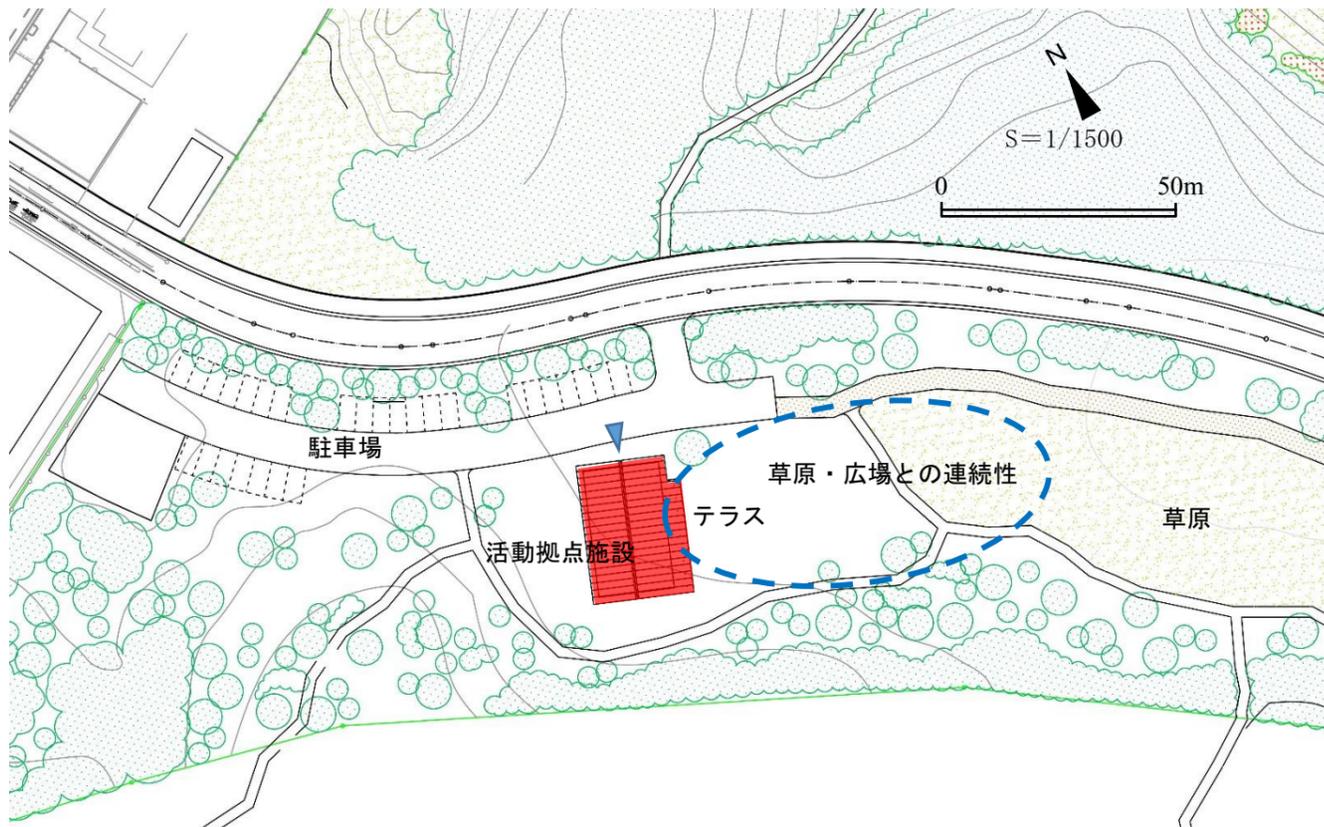


○参考：兵庫県甲山森林公園



○参考：阿寒国立公園（北海道）

[活動拠点施設配置図（案）]



②トイレ

○本公園は市道信太5号線で2区域に分かれていることや、屋外活動エリアが拠点施設と離れていることを考慮して、東側エリアにトイレを計画する。

■公園の小規模なトイレの標準的規模

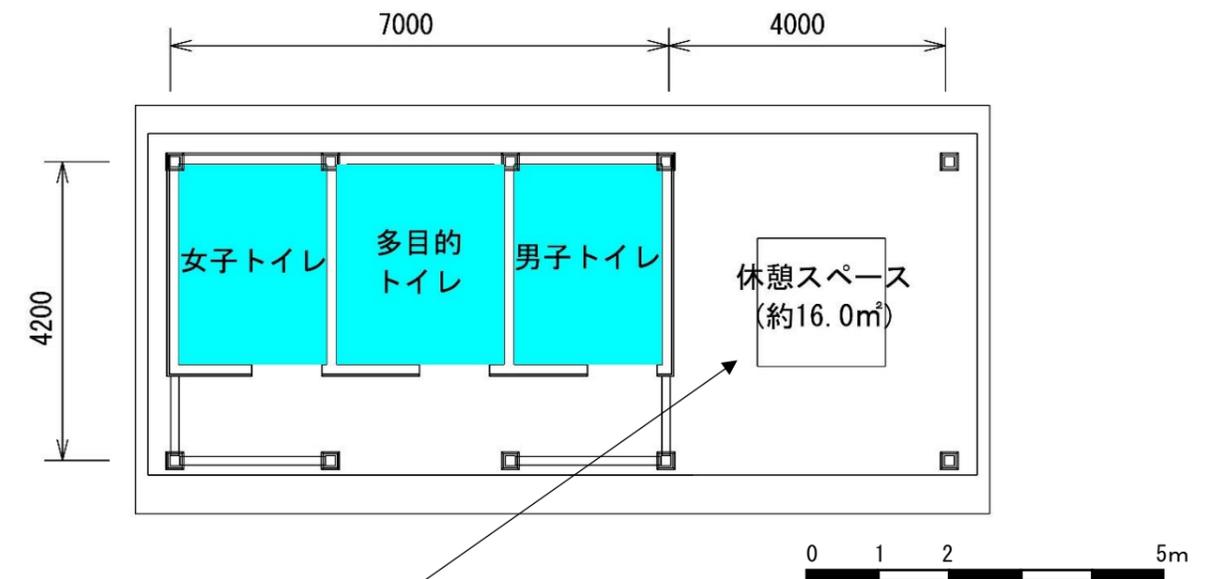
- ・女子：大×2、手洗い×1
- ・男子：大×1、小×2、手洗い×1
- ・身障者：大×1

（出典：建築設計資料39 公衆トイレ）

○浄化槽付きの汲み取り式便所として検討する。

○人待ちや休憩、雨宿り等に利用できる休憩スペースをトイレに付帯して計画する。

[トイレ平面検討図] (S=1/100)



休憩スペース  
・トイレの待合や休憩、雨宿り等に利用できるスペース



○参考：木の質感のあるトイレ



○参考：休憩スペースのあるトイレ